

「9月1日は防災の日

備える、守る、つながる」



写真=石川県ホームページより

毎年9月1日は「防災の日」です。これは、大正12年（1923年）に発生した関東大震災を教訓に「災害に対する認識を深め、備えの大切さを改めて考える日」として制定されたものです。また、毎年8月30日～9月5日は「防災週間」とされ、全国各地で防災訓練や啓発活動が行われます。

日本は世界でも有数の自然災害大国であり、大雨や台風、地震など、私たちの暮らしのすぐそばには常に災害のリスクがあります。

その中でも、将来必ず起こるとさげられている南海トラフ地震は、広い範囲で甚大な被害をもたらす恐れがあるといわれています。国や自治体では、その被害を少しでも減らすために「南海トラフ臨時情報」などの制度を整え、早めの避難や防災行動を呼びかけています。